

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
胸部心臓血管外科学講座
研究責任者： 村田 賢祐

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 腹部・腸骨動脈瘤に対する IBE EVAR の手術成績

研究の目的

当院では腹部大動脈瘤症例のうち腸骨動脈瘤を合併した方や総腸骨動脈の長さがステントグラフトを留置するためには不十分な方に対し、2019 年から EXCLUDER IBE というステントグラフトを用いて内腸骨動脈を温存した腹部大動脈ステントグラフト内挿術（EVAR）を施行しております。術前の CT 検査データから求めた動脈の解剖学的条件と、術後エンドリーク（動脈瘤内への血流の残存）やステントグラフト閉塞を含めた合併症率の関連性を明らかにします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2025 年 12 月 31 日

対象となる方 2019 年 10 月 1 日～2024 年 10 月 31 日までの間、附属病院心臓血管外科で腹部大動脈ステントグラフト内挿術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢や併存疾患などの治療に関連する患者背景情報、CT 検査データ、手術内容について、標記研究のために利用します。

外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	胸部心臓血管外科・村田賢祐 murakenken@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---